



20歳との町長ミーティング

～若者が思う「八峰町のこれから」～

町では、将来のまちづくりに生かすため、今年20歳を祝う会に参加する若者たちとの意見交換会を開催しました。町長が参加者に直接話を聞きながら、八峰町の魅力や課題、将来への思いについて語り合いました。

「若い人の率直な声を聞きたい」

町長 今日が集まっていたいてありがとうございます。皆さんが普段感じていることや、この町に期待することをぜひ聞かせてください。若い人たちがなぜ町を離れるのか、逆にどんな環境があれば住み続けたいと思うのか、皆さんの率直な意見を聞きたいと思っています。

通学や移動の不便さ

話題はまず、交通事情について。

参加者 高校時代は電車の本数が少なく、親に送迎してもらうことが多かったです。

町長 やはりそうですね。部活動をしていると時間も合わなくなりますね。

参加者 部活が終わる時間によっては電車に間に合わないこともあります。

す。

交通の利便性については、多くの若者が共感する課題として挙げられました。



「遊ぶ場所が少ない」

続いて話題になったのは、若者の居場所や遊び場についてです。

参加者 遊ぶ場所は少ないと思います。買い物も能代市や秋田市、五所川原まで行くことも多いですね。

町長 子育て世代の方々から同じような声を聞いています。

活用が欠かせないことが改めて確認されました。

将来も八峰町に住みたい？

最後に町長から、将来の定住意向について質問がありました。

町長 皆さんは将来も八峰町に住みたいと思いますか。

参加者 人も優しいし、自然も豊かなので良い町だと思います。

参加者 買い物や交通は都会の方が便利ですけど、地元には地元の良さがあります。

参加者 ずっと住むかは分からないですが、最後は地元に戻ってきたい



大型商業施設への期待も話題になりましたが、人口規模などの条件から現実的な難しさも共有されました。

自然という大きな魅力

一方で、八峰町ならではの魅力として自然環境を挙げる声もありました。

参加者 海も山もあって自然が豊かですよね。

町長 そうなんです。その自然をもっと生かしていきたいと思っています。アウトドアや自然体験は、町の大きな強みになるはずですよ。

海や山を活用したイベントやアクティビティの可能性についても話が広がりました。

地元を離れて感じるこ

都市部で働く同世代の話題になると、それぞれの考え方が語られました。

町長 都会に出た友達はどうなことを話していますか。



という気持ちはあります。

若者の声をまちづくりへ

意見交換会では、交通や買い物環境への要望がある一方で、豊かな自然や人の温かさを八峰町の魅力として評価する声が多く聞かれました。

町長は、「若い人たちの意見を今後のまちづくりに生かしていきたい。気づいたことがあれば遠慮なく伝えてほしい」と話し、意見交換会を締めくくりました。

若者たちの率直な声は、これからの八峰町を考える上で大きなヒントとなりました。

地元の飲食店や観光資源をもっと発信したい

観光や飲食店の話題では、情報発信の重要性が挙げられました。

参加者 町の情報発信に携っていますが、観光パンフレットの、営業時間やメニューが変わっているお店も多くて、情報の更新が大変です。



参加者 都会の生活が自分に合っていて楽しんでいる人もいますし、逆に「やっぱり地元がいい」と感じている人もいます。

町長 人それぞれですね。大事なのは、戻ってきたいと思った時に仕事や環境があることだと思います。

町長 観光客から「おすすめのお店はどこですか」と聞かれることもありますからね。

参加者 地元についても知らないお店が結構あります。もっと発信できるというと思います。

参加者からは、海の景色や地元グルメなど、町の魅力を分かりやすく伝える工夫が必要ではないかという意見も出ました。

若者はSNSで情報を集める

若者ならではの視点として、情報収集の方法についても話が及びました。

参加者 旅行先を探す時はTikTokを見る人が多いです。気になった場所があれば、そこからホームページを見たりします。

町長 やっぱりTikTokなんですね。

参加者 同世代はInstagramやTikTokで情報を見る人が多いと思います。

若者への情報発信には、SNSの